

**対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「プンタゴルダ町ごみ収集車整備計画」
引渡式**

2020年2月24日、トレド県において、対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「プンタゴルダ町ごみ収集車整備計画」の引渡式が開催されました。

窪田大使は、挨拶の中で、日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、同市役所への新しいごみ収集車の供与が実現したことは大きな喜びであり、また、今般の支援は、プンタゴルダの町民とこの地区の美しい自然環境の向上に大きく貢献すると信じて述べました。

プンタゴルダ町は既存の2台の中古ごみ収集車で町全体のごみ収集に対応していましたが、車両の老朽化のため頻繁に故障し、1週間以上ごみ収集が行われない状況が続くなど、同町のごみ行政は大きな問題に直面していました。

このような状況を改善するため、今般、草の根・人間の安全保障無償資金協力で供与された202,500米ドルで、同町役場は2台のごみ収集車を購入することができました。この供与によって、プンタゴルダ町町民の皆様がより良い衛生的な環境で生活を送れるようになることが期待されています。

同引渡式には、アシュトン・マッケンジー町長他同町関係者、報道関係者、JICA関係者など約70名が出席しました。

被供与団体のアシュトン・マッケンジー町長は、日本の草の根によって新たなごみ収集車の寄贈を受けたことは大変な光栄であり、この機材を用いてごみ収集業務を最適化し、町の廃棄物管理の状況を改善する事が出来ると喜びを述べると共に、日本政府、及び日本国民の寛大で暖かい支援に心からの感謝の意を表明しました。



窪田大使によるスピーチ



日本政府と日本国民への謝意を述べるアシュトン・マッケンジー町長



供与車両の前で行われたテープ・カット



式典の参加者



供与されたごみ収集車 (1)



供与されたごみ収集車 (2)